

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：5年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男子は、特に 50m走や立ち幅跳びなどのすばやく移動する能力やすばやく動き出す能力が優れている。
- 女子は、特に反復横跳びやソフトボール投げなどのすばやく動作を繰り返す運動やすばやく動き出す能力が優れている。
- 男女とも、上体起こしの筋力を持続させる能力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・児童同士の褒め合いや励まし合いを大切にした大縄跳びの取組
- ・授業始めの5分間に、体育で行う運動に応じた多様な動きを身につける運動・遊びを、福岡県スポーツコンテスト広場の種目をもとに設定
- ・自分ができるようになったこと確認させる自己評価カードや振り返り活動の設定

②改善を図る点

- ・筋力を持続する能力や、すばやく動作を繰り返す能力をあげるための運動を、体育の時間の準備運動を通して継続して行うこと。
- ・体育の授業の中で、タブレットなどの ICT 機器を活用する授業を推進し、児童が自分の動きを評価する機会を設定すること。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・日常的に運動することへの意識を向上させるため、体力アップシートを活用し定期的に評価を行う。
- ・体力向上を図るため、福岡県スポーツコンテスト広場を活用し、学級の実態に即した種目を選択して、学級で取り組むとともに、全校での記録会を年間1回程度実施する。